

問い合わせ先
第十一管区海上保安本部
海洋情報調査課長 島村 国雅
TEL098-867-0118(内線2530)

南西諸島の島々間の強い流れに注意！

～「二軸電磁ログ」実用化による成果 第2弾～

東京湾での海上保安庁観閲式に参加した、第十一管区中城海上保安部所属 巡視艇「あわぐも」が、沖縄へ戻る航海の時に、特徴ある海の流れを次々と観測しました。特に奄美大島から与論島の間では、島々の間の強い流れを観測しました。

1. 島々の間の観測結果について

5月31日から6月5日の間に横浜港から金武中城港へ回航した際、「海潮流データ収集装置付二軸電磁ログ」にて海流観測を実施しました。(付図1参照)

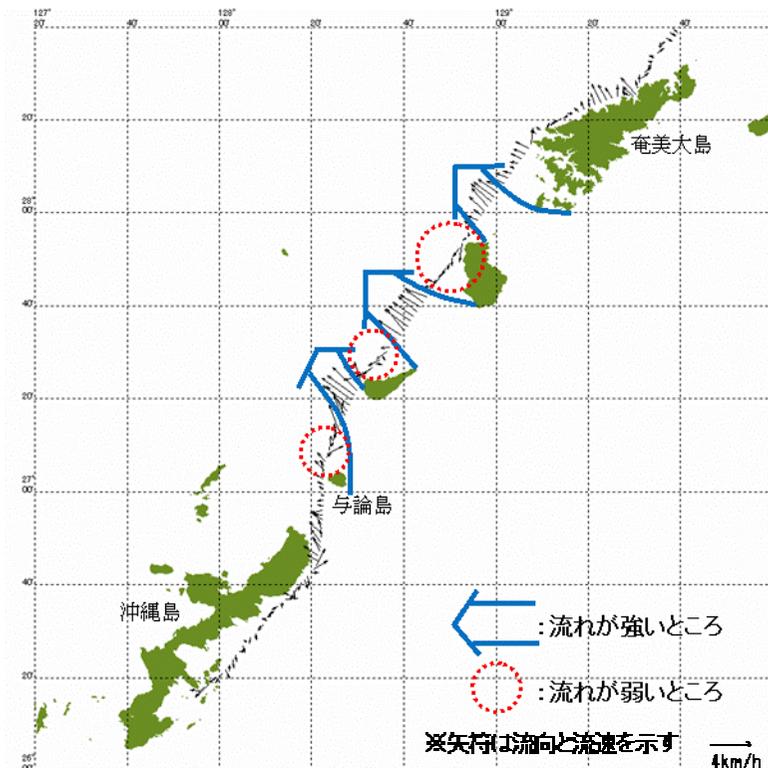
- ・奄美大島から与論島の間海域において、太平洋から北西に向かう黒潮に匹敵する速さ4 km/h前後の強い流れを観測
- ・島影の海域では、島が防波堤となって、平均で速さ1 km/h程度の弱い流れ
- ・島々の間の流れは、太平洋から北西に向かう流れを堰き止めるものがなく、平均で速さ3 km/h、島影の3倍の強い流れ(付図2参照)
- ・上述の他、本州南岸、四国沿岸及び九州東岸・南岸の海域で、特徴ある流れを観測(付図3、4参照)

2. 航海には十分な注意が必要

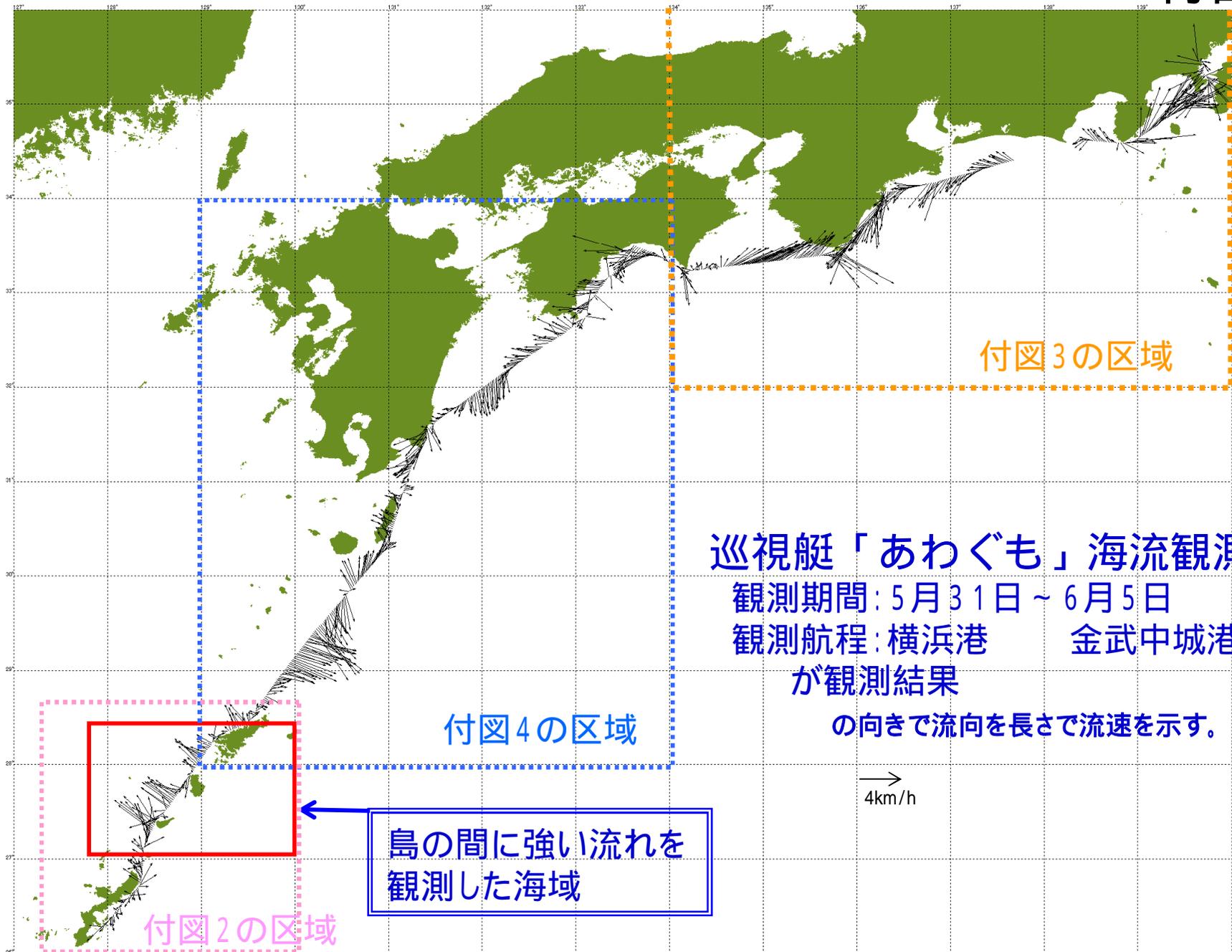
- ・島々の間の海域では、強い流れがあるため、小型の船での航海の際は、十分注意が必要
- ・急に流れが強くなるところは、高い波が立つことも知られているので、操船には十分注意が必要

3. 今後も沿岸海域の観測を実施

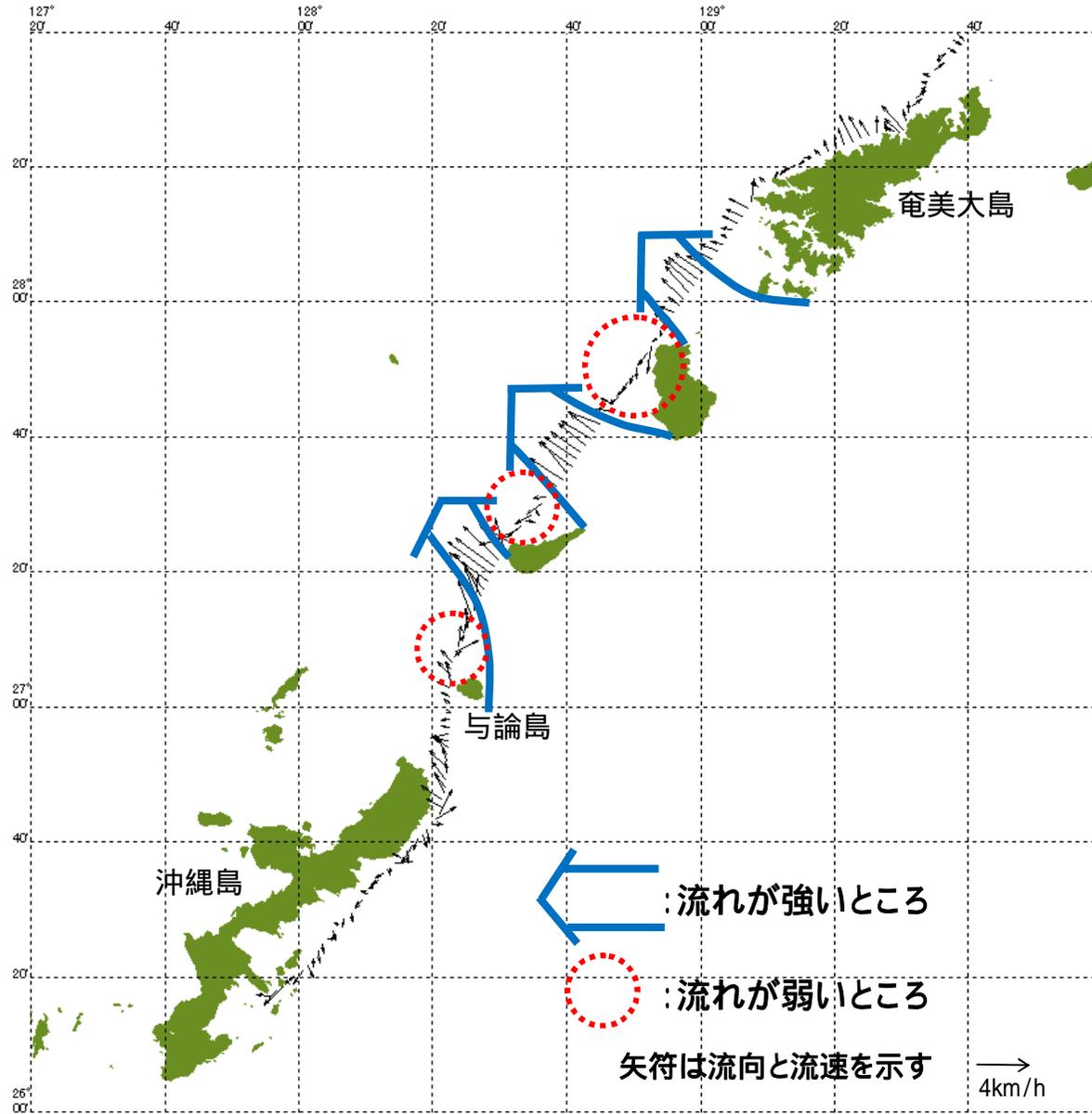
当本部では「海潮流データ収集装置付二軸電磁ログ」を活用し、今後ますます海難救助、海洋環境保全、船舶の航行安全及び経済運航等に役立つよう、沖縄県周辺の沿岸海域の複雑な流れの把握に努めます。



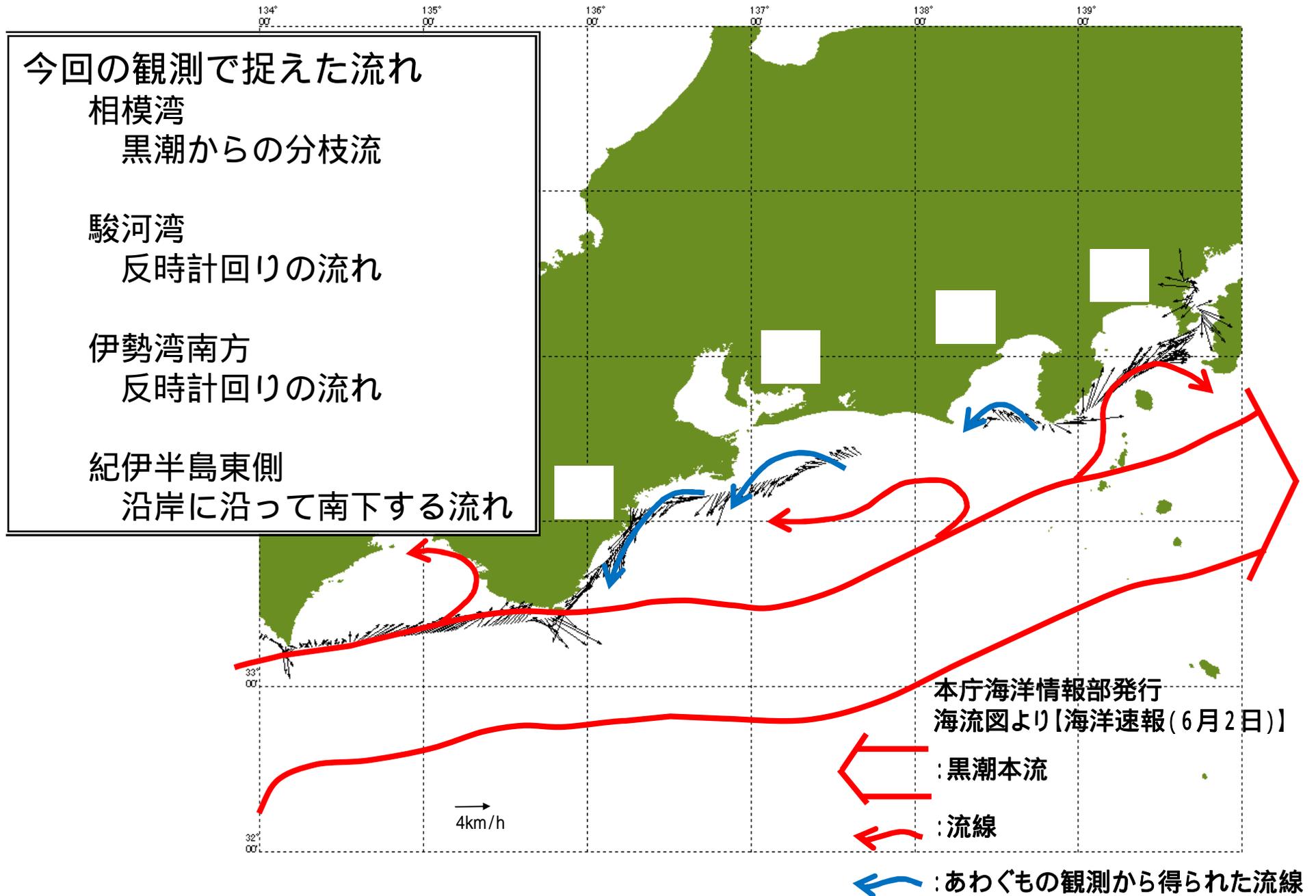
付図1



島の間強い流れがある状況(6月4日~5日)



巡視艇「あわぐも」海流観測（5月31日～6月2日） 付図3



巡視艇「あわぐも」海流観測（6月3日～4日）

付図4

今回の観測で捉えた流れ
土佐湾
黒潮からの分枝流（反流）

日向灘
黒潮からの分枝流（反流）

屋久島南方
黒潮本流

